



神奈川私学保連 NEWS

Vol.88
2014.10.1

神奈川県
私学保護者会
連合会



神奈川県私学保護者会連合会 会長 市川 昌 廣

それでも、ぼくはへこたれない

ぼくは、使用者（歩行等の介助に盲導犬を使用する目に障がいのある人）の足もとに寄り添い、いつものように買い物をする商店街へ使用者を誘導していた。大通りを経て、近道となる路地に入ると、真夏の直射日光でアスファルトが焼けただれ、路面がデコボコになっている。ぼくは落ち着いて、この突然できたデコボコの路面につまずかぬよう使用者を誘導するが、その先の、夏祭りでごった返す商店街を見ると、憂鬱になる。

頭上を慌ただしく行き交う夏祭りに興奮した人たち、その足もとから、ぼくはその一人ひとりのめまぐるしい動きを見極め、使用者が目的の店にたどり着くよう誘導しなければならぬ。

ぼくは生まれて1歳を過ぎた頃、盲導犬になるための訓練を受けた。「カム（来い）」「シット（座れ）」「ダウン（伏せ）」「ゴー（進め）」「ウェイト（指示された場所で待て）」など、何度も繰り返し教えられ、ぼくは1年足らずで訓練を終えた。つまりぼくは、呼ばれたら何があるかと直ちに使用者の左側の足もとに寄り添い、次の命令を待つことが義務づけられている。ぼくはそのように使われることを、屈辱だとも不自由だとも思わない。ぼくが緊張するのは外出時の行動だ。ぼく自身は、格子状のマンホールに足を

とられまいとすることだが、使用者に対しては、エレベーターやエスカレーターに乗降時のタイミングを的確に知らせること、そして、無造作に放置された自転車、歩道にはみ出す置看板、工事中の柵や垂れ下がる木の枝など、それらを避けるための確な誘導をしなければならない。

特にエスカレーターの乗降は難しい。エレベーターは使用者がカゴ内の同乗者に目的のフロアを告げればよいが、エスカレーターはそうはいかない。ぼく自身が使用者にそのタイミングを知らせなければならぬからだ。ぼくは胴体をくねらせて、使用者の足もとを軽く押す。

しかしぼくらは使用者の命令に従わず、勝手な行動をとることもある。信号待ちで赤から青に変わったとたん、右後方から横断歩道に突つ込む自動車。そんなとき、ぼくらは瞬時にリード（革ひも）を突つ張り使用者の歩行を止める。

誘導中、缶コーヒの熱い液体をかけられたり、スプレーペンを吹き付けられたり、マジックペンで「バカ犬」と書かれたりもするが、ぼくらはそんなことこたれなかつた仲間もいる。

あの日、陽に焼かれた路地はひどく汚れ、腐りかけた魚肉のように生臭かった。ぼくは息苦しくなるたび口内を舌でなめ

今月21日、パシフィコ横浜・会議センターで、本年度の「神奈川県私立中学校・高等学校振興大会」が開催されます。本県の私立学校に対する国（県）からの経常費の全国で中学校はワースト1位、高等学校はワースト2位です。私たちは本県の私学が健全に運営され発展することを願っています。そのためには全国並みの補助額が必要です。国や県に繰り返し要請しなければなりません。この大会は、国や県の議員さんが大勢来席されます。この機会を逃さず保護者の皆さんで強く訴えましょう。

保護者の願いを届けましょう！

神奈川県私立中学校・高等学校

振興大会

10月21日（火） 15時 パシフィコ横浜 会議センター メインホール

今年度も「神奈川県私立中学校・高等学校振興大会」を、私立中学高等学校協会・私学保護者会連合会主催、私学保護者会交流会の共催で開催します。

開催の趣旨は、神奈川県私立中学校・高等学校のより一層の振興を期して「神奈川県私学の決意と願い、及び努力を神奈川県民の皆さまにアピールする」ことを目的として、

- 1 改正教育基本法及び私学振興助成法の精神を十分に反映した私学振興策の着実なる実施
- 2 公私間の学費格差の是正や公立私立学校の協同経常費補助（生徒一人当たりの単価）を国の財政措置額並の増額等を行政関係者及び議会関係者に要請
- 3

と行うことです。

当日の招待者（予定）は、神奈川県知事の黒石祐治様、県議会議長の向笠茂幸様、県私学審議会会長の中村省司様をはじめ、来賓として国会議員、県議員をお迎えする予定です。参加者は、加盟校の理事長・校長・教職員及び保護者会から各校10～15名程度をお願いし、約1,000名の大会にしたいと考えております。

今年も多くの皆様のご参加を、よろしく願います。

神奈川県私立中学校・高等学校 振興大会

実施日 平成26年10月21日（火）

会場 パシフィコ横浜 会議センター メインホール

<交通> JRまたは市営地下鉄「桜木町駅」より徒歩12分
みなとみらい線「みなとみらい駅」より徒歩3分

時 程

- ・受付 14:00～15:00
- ・振興大会 15:00～16:30

主な行事への出席

- ◆4月23日（水） 神奈川県交通安全対策協議会 *かながわ県民センター（市川監事）
- ◆5月13日（火） 平成26年度5月理事会（最終） 平成25年度会計監査
- ◆5月23日（金） 平成26年度定時総会・特別演奏会 *崎陽軒本店
- ◆6月27日（金） 関東地区私学保護連理事会 *茨城県水戸市（市川会長、事務局）
- ◆7月11日（金） 日本私学保護連理事会・研修会 *大阪市（市川会長、佐藤・玉園副会長）
- ◆7月12日（土） 青少年の健全育成を進める県民会議 *海老名市文化会館（前迫・深谷理事）
- ◆7月16日（水） 薬物クリーンかながわ推進会議・街頭キャンペーン（前迫理事）
- ◆7月18日（金） 神奈川県いじめ暴力行為問題対策協議会 *私学会館（市川会長、深沼会計理事）
- ◆7月21日（月） 2014全私学（中・高）展 *パシフィコ横浜（市川会長、佐藤副会長、深沼会計理事、前迫・深谷理事、金子・市川監事）
- ◆7月27日（日） 社会環境健全化推進街頭キャンペーン *川崎フロンパーク（深谷理事）
- ◆7月29日（火） 事務長会夏季研修会 *熱海後楽園ホテル（市川会長、佐藤副会長、深沼会計理事、浅見・前迫理事、市川監事）
- ◆8月7日（木） 神奈川県公立高等学校協議会 *県庁新庁舎（市川会長）
- ◆8月9日（土） かながわ青少年社会環境健全化推進会議 *日産スタジアム（鴨下理事）
- ◆8月19日（火） 理事長・校長研修会 *箱根湯本富士屋ホテル（市川会長、佐藤・玉園副会長）
- ◆8月29日（金） 関東地区私学保護連理事会・研修会 *茨城県水戸市（市川会長、他役員11名）
- ◆9月8日（月） 県議会議員への請願 *県庁新庁舎（市川会長、他役員5名）
- ◆10月21日（火） 神奈川県私立中学校・高等学校 振興大会 *パシフィコ横浜 会議センター メインホール
- ◆11月11日（火） 保護者会連合会・交流会「研修事業Ⅰ」 *山梨リニア見学研修ツアー（市川会長、石田代表、約80名）
- ◆12月2日（火） 私学振興全国大会 *日比谷公会堂
- ◆2月（予定） 保護者会連合会・交流会「研修事業Ⅱ」 *講演会

これからの行事予定

回し、使用者を商店街の入口まで誘導して、人混みの中に入った。

そのとき、槍で突かれたような激痛が多くの背骨に走り、電流が爪先を突き抜けた。ぼくは一瞬たじろぎ、倒れかけた。そしてとつさに隣を歩く使用者の顔を見あげ、それから後ろも振り返った。凶器をかざしニヤリと笑みを浮かべ立ち去る人をぼくは見えた。しかしぼくはそのことで声を発しない。背中が熱く、濃い血の匂いがする。ぼくはもう一度遠慮ぎみに使用者の顔を見あげたが、使用者はいつもの表情と変わらず、人混みに戸惑っている。ぼくは痛みをこらえながら、使用者の足もとにビタリと寄り添った。

ぼくは思う。街でぼくらを見かけても同情しないでほしい。そしてぼくらの行動をそっと見ていてほしい。ぼくらよりもっと不自由で、その不自由さと生涯向きあっている人たちがいる。ぼくらは欠かせないのだから。

神奈川県私立中学高等学校案内 ホームページ <http://www.phsk.or.jp> ●内容 学校情報・入試情報・英文情報・学費補助

■発行者 『神奈川県私学保護者会連合会』 〒221-0833 横浜市神奈川区高島7番地5 神奈川県私学会館内 ☎045(321)1901
■印刷所 『有限会社 イソノ』 〒235-0016 横浜市磯子区磯子3-10-4 ☎045(753)2549

定時総会の開催

～神奈川の私学の発展のために～

今年度の定時総会は5月23日（金）に崎陽軒本店（横浜駅東口）で開催されました。神奈川県私学（小・中・高）の保護者会連合会の加盟校88校中、出席校26校、委任状提出校55校で総会は成立いたしました。出席者は、各校から91名、新旧役員12名、来賓1名、保護者会交流会7名となりました。まず、保護者会の市川昌廣会長が挨拶し、次に来賓として、私立中学高等学校協会の工藤誠一理事長（聖光学院校長）からご挨拶をいただきました。議事に入り、平成25年度事業・決算報告と平成26年度事業計画・予算が提案され、すべて原案通り承認されました。

次に、浅見役員推薦委員長より役員改選について提案があり、12名の役員（理事）が承認されました。今年度は次の方がご退任されました。萩原和多利（理事1年）のご功績に深く感謝を申し上げます。

新しい理事として鴨下 博厚（洗足学園中学高等学校）、吉成みち子（横須賀学院中学高等学校）、深谷 祥子（藤嶺学園藤沢中学高等学校）の3名が就任されました。新しい理事の皆様には公私ともにご多用の中、役員をお引き受けくださり、ありがとうございました。

神奈川県私学保護者会連合会の加盟校、会員の



8月29日関東地区代表者会（茨城県水戸市）ホテル レイクビュー水戸

皆様には、これからも本連合会の諸事業のご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

木田 事務局次長
市川 監事（武相学園）
佐藤 副会長（横浜創英）
深谷 理事（藤嶺学園）
吉成 理事（横須賀学院）
前迫 理事（横浜富士見丘）
金子 監事（高木学園女子）
市川 会長（横浜学園）
浅見 理事（立花学園）
深沼 会計理事（横浜清風）
鴨下 理事（洗足学園）
玉園 副会長（平塚学園）
原 会計理事（聖光学院）

●平成26年度 神奈川県私学保護者会連合会 役員

役職名	氏 名	所属父母会（PTA）・役職名
会 長	市 川 昌 廣	横浜学園高等学校後援会 会長
副 会 長	佐 藤 昭	横浜創英中学高等学校後援会 会長
	玉 園 篤 敏	平塚学園高等学校父母の会 会長
理 事	浅 見 昌 宏	立花学園高等学校PTA 参与
	前 迫 由 香	横浜富士見丘学園中等教育学校PTA 副会長
	鴨 下 博 厚	洗足学園中学高等学校 洗足会会長
	吉 成 みち子	横須賀学院中学高等学校 教育賛助会会長
	深 谷 祥 子	藤嶺学園藤沢中学高等学校PTA 担当役員
会計理事	深 沼 昭 彦	横浜清風高等学校PTA 常任顧問
	原 大 蔵	聖光学院中学高等学校聖光会 理事
監 事	金 子 晃 久	高木学園女子高等学校PTA 顧問
	市 川 千 恵	武相中学高等学校PTA後援会 相談役

来賓あいさつ



教育が心の翼を育む

一般財団法人 神奈川県私立中学高等学校協会
理事長 工 藤 誠 一
（聖光学院中学高等学校理事・校長）

神奈川県私立中学高等学校協会の工藤です。日頃より保護者の皆様には、中高協会の運営にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は十年ぶりに、11月25日関内ホールにおきまして神奈川県私学振興大会を開催いたしました。当日は、ホール一杯に保護者の皆様にお集まりいただき、誠にありがとうございました。本年も、昨年に引き続き10月21日に振興大会を実施いたします。

私たちの願いは一つです。それは、私学に通う子供たちの教育環境を守り、さらに向上させることです。そのためには、経済的理由によって学校を選択する自由が制約されないように、私学助成が増大されることが不可欠です。

国から各都道府県に支出されている私学助成に対する財政措置額は、高校生一人当たり317,002円、中学生一人当たりは309,581円です。国家予算として、この金額が生徒一人当たりに計算され、神奈川県にも支出されているのです。しかしながら、本県における生徒一人当たりの補助額は高校生293,938円、中学生では210,028円となり、今や日本全国最下位のレベルなのです。多摩川一つ隔てた東京都の生徒一人当たりの補助額が高校生379,584円、中学生355,958円であるという現実を目の当たすると、呆然とせざるを得ません。

財政的に困難な状況にある本県ではありますが、東京のように我が国最高レベルの補助額とまではいけなくとも、何とか日本国政府が財源措置額として支出して

いる水準は確保したいというのが、私も私学の切なる願いです。本日ご出席の皆様には、ぜひともこの点につきましてご理解いただけますよう、お願い申し上げます。

さて、私たちは現代社会において子育てをしていく際に、親としての難しさを痛感することが多くなったのではないのでしょうか。

インターネット時代といわれる昨今、若者は本も新聞も読まなくなりました。宿題のレポートなども、グーグルで検索してはカット&ペーストで手早く済ましてしまう傾向があります。若者たちは早朝から深夜まで、パソコンや携帯端末でのメール・チェックやSNS、ツイッターやラインなどへのアクセス頻度がたいへん高まっているようです。

情報端末とは本来は人間が主体的に使用すべきはずのものであるのに、端末に依存し、追い立てられている状況と言えるでしょう。端末から溢れ出す際限ない情報に私たちは振り回され、生きていくための主体性を見失っているようにも思えてなりません。いったい私たちは何を失くなり、また何を喪失してしまったのでしょうか。

私たちの一日の持ち時間は24時間です。この限られた時間をどのように使うか、このことがとても大切なのです。なぜなら時間の使い方というのは、私たちの命の使い方そのものであるからなのです。ほんざいに時間を使えばほんざいな人生になります。いい加減でだらしない時間の使い方、そのまま人生をだらしない

ない、いい加減なものにしてしまいます。

こうした時代の中にあつてこそ、私学の教育に価値が見出されるのではないのでしょうか？中高時代の価値のある経験、体験はその個人の心の翼となります。心の翼を育てる教育ができるのは、私学の大きな特徴です。なぜならば、私学はそれぞれの学校が独自の建学の精神をもっており、さらには保護者の皆様もお子様一人ひとりに適した学校を選択し進学することができるからです。

近年は公立校でも私学のシステムを取り入れたり、

多様化を推進したりしています。しかしながら、いくらその方向性の転換を試みても、その構造の根幹ともいえる教育委員会を頂点とした中央集権的体質に変化はありません。いえ、変わらないどころか、成果主義が前面に押し出され、目標とする数字を出すことに汲々としているというのが現状なのです。

私が最近読んだ本に『居酒屋ぼったくり』という本があります。題名は少し物騒ですが場にはふさわしくないかもしれませんが、内容の一節が学校のあるべき原点を示唆していますので、ここで皆様に紹介させていただきます。

「居酒屋を始めるなら冬がいい。寒い中ずっと歩いてきて居酒屋の灯りが見えたら、つい足を止めたくなるだろう。」

寒風にさらされて冷え切った体は、馴染みの店まで待ってくれない。通りすがりの新しい店でも覗いてみよつか、つて気になるじゃないか。

旨い酒と旨い料理、そして正直な商い。居酒屋にとって必要なのはそれだけだ。他はあとからついてくる。と、大いに納得できる金科玉条に、両親は、いかにお客を満足させるかだけを追い求めた。

冬に店を開いた父の狙いが当たったかどうかは定かではない。だが、開店してすべの頃、ふらりと立ち寄ってくれた客の何割かは馴染みとなり、今も通い続けてくれている。」

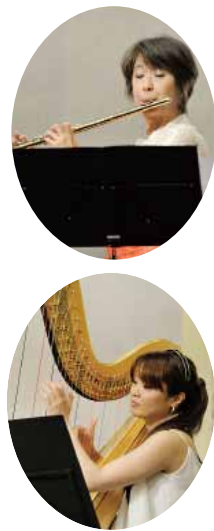
どのように教育ツールや設備といったハードウェアが進歩しようとも、学校という教育現場において最も大切なのは、

良い先生
ひきつける授業
真心がある対応
ではないでしょうか。この基本であり、原点とも言つべき事実を忘れてはならないということを、この一節は考えさせてくれます。

私学がめざすのは、子供たちの豊かな心を育むための教育です。そこで受ける若い時の経験や体験こそが、それぞれの将来を主体的に生きていくための、大いなる心の翼となっていくのです。

やさしい音色で心寛まる「ハープ」

フルート 山田 恵美子 さん
ハープ 操 美穂子 さん



（司会）本日演奏してくださる方は、神奈川フィルハーモニー管弦楽団のフルート山田恵美子さん、ハープの操美穂子さんお二人です。プロフィールと曲目はご本人からご説明していただけます。とりあえずマイクをお任せしましょう。

（１）「アルルの女」よりメヌエット

本日はこの講演会にお呼びいただきありがとうございます。日ごろから神奈川フィルハーモニーにご支援いただきましてありがとうございます。いつも60人、70人で活動しています。今演奏いたしました曲はオーケストラの曲です。フルートとハープと言えばこの曲、よくご存知かと思いますが、初めて取り上げました。私はフルートの山田恵美子と申します。ハープは私の後輩である操美穂子さんです。一曲目のメヌエットはフランスの作曲家ビゼーが作曲したオペラですが、オペラ自体はカルメンほど有名ではなくて、この曲とか組曲で何曲かよく演奏されます。私たちはオペラが大好きな人ですけど、そんな曲が全部できたらいいなというも思っています。

続きましてフルートとハープといいますと、モーツァルトが作曲した弦楽器伴

奏のコンチェルト、ソリストが二人いて伴奏が入ると言うその曲がとても美しい曲なんですけれど、その中から第2楽章を聞いていただきたいと思います。

（２）フルートとハープの為の協奏曲より第2楽章

ありがとうございます。午後のひと時楽しんでいただけましたでしょうか。ごゆっくり聞いていただければうれしいです。

続きましてフランスの作曲家ドビュッシーが作りました1曲目はフルートのソロを聞いてもらいたいと思います。あるひとつのボエムにつけられた音楽をドビュッシーが書いたのですが、シリリンクスというのは神話に出てくる牧場の神様、四足で顔は人間という神様ですけど、その人が横笛を吹いている絵をどこかでご覧になった方もいると思いますが、ソロの曲を吹かせてもらいます。

続きましてピアノ協奏曲なんですけれども、可愛い子どものために作られた曲の中から小さな羊が牧場で横笛を吹いている西洋の絵を想像しながらお聞きください。

（３）シリリンクス 小さな羊飼いの

の弦は羊の腸でできているガット弦を使用しています。47本の弦が色分けされており、赤がソロ、黒がソファ、今日はじゅうたんが黒めなのでソファの弦と床ががぶっておりましてとても目の訓練になります。でもすごく響く空間で楽しく弾かせていただいております。今日は私学の保護者ということで私が私神奈川県の聖園学園の中学校出身でちょっとご縁があり楽しみに来しました。では次の曲に入らせていただきます。

ペダルのお話はなかったですね。とても優雅に弾いてますがドレスの下は足はすごいことになっておりまして、2本の足で7つのペダルを上げたり下げたり真ん中にしたりしております。とても大変な

フルートとハープの 素敵な二重奏

市川 千恵



（武相学園PTA後援会相談役）
無事定時総会も終わり、コーヒの香りが漂う中、神奈川フィルハーモニー管弦楽団の主席フルート奏者の山田恵美子さんとハープ奏者の操美穂子さんによる、二重奏のコンサートが開演いたしました。

まず第一曲目では、みなさんご存知の「アルルの女」よりメヌエット。フルートの響きが優美なメロディーを奏で、ハープが清らかに包みクラシックの世界へと引き込んでくれました。二曲目では、フルートのやさしい音色ときれいなハープの音が溶け合い、心に落ち着きと安らぎを与えてくれました。

お仕事だと思っています。お顔は「さっ！」としておりますが、さっきサンサンスで私が吹いた半音階はフルートは得意なんです。ハープは不得意なんです。ペダルの関係で半音階が苦手なんです。ただソロというのとはとてもきれいなんですね。ずるいですね（笑）。くだけたところで一曲、バートバカラックの「遥かなる影」をお聞きください。

（４）遥かなる影

プログラム最後の曲になってしまいました。ですがデイズニーのピノキオの中にあるハープラインが作りました「星に願いを」を聞いていただきたいと思います。

（５）星に願いを

お時間があつたらもう一曲吹かせてく

ドビュッシーの世界、いかがだったでしょうか。続きまして操さんにヘンデルのハープコンチェルト1楽章を弾いてもらいたいと思います。また時代がちよつと古くなりました。

（６）ハープ協奏曲より第1楽章

ありがとうございます。フルートはもちろん皆さんよくご存知かと思いますが横笛です。小学校の頃に習ったリコーダーは縦笛、縦笛のほうが歴史は古いと言われているのですが、ただ木をくり抜いた横笛の方が歴史が古いという説もあります。ですが、そんなには経っていません。フルート自体ができたのが19世紀で、今の曲を聞いていると、ハープも本場に歴史が古い楽器なんだなとつくづく思います。後で操さんに楽器の説明もしていただきます。フルートは簡単にビールびんを吹くような感じで音を出しますが、他のクラリネットやオーボエに比べると半分息をすてて音を出すもので大変苦しい楽器です。息づかいが一番難しいと思います。ただ大きくはないので小さなケースで運べますし、とてもリーズナブルな価格なものです。ありますし、とつきやすいということですが皆さんに好

ださい。私たちは大和市に住んでおりまして、この前飛行機がもしかしら飛ばなくなると喜んでいました。もうひとつからすがいなくなったらなあという思いをこめましてこの曲を吹きたいと思っています。

（７）つゆのさ

拍手

（司会）ありがとうございます。市川理事、前泊理事よりお礼の言葉と花束贈呈をしたいと思います。

フルートの素敵な音色、ハープのやさしい響き、お二人の調和がとても素晴らしい響きです。本当に心を暖かい気持ちと優雅な気持ちにさせていただきました。本日は素晴らしい演奏会ありがとうございました。



まれています。次はフランスのサンサーンスが作りましたフルートとピアノのためのロマンスという曲で、ロマンスチックな曲で今日はハープで弾いていただくことにいたしました。

（８）ロマンス

続きましてハープのソロで泉というすごくきれいな曲を弾いてもらいます。そのあとでハープの説明をしていただきます。

（９）泉

（操美穂子さん）今日は楽しみに参りました。もうこんなに曲を弾いてしまったんですが、改めてハープの操美穂子といえます。ハープはどんな声をしている人が弾くんだろうという声を伺うの、でしゃべるのがあとになってしまいました。

ハープを生で見た方は多くいらつしやると思います。身長というか長さは190cm位、弦は47本で、手で弾きます。ただピアノと違いまして小指を使わないので8本の指で引いています。私は小指が短くて進化していないというか他の指は太いですが・・・ハープを弾いている方は小指がとっても短いです。ハープ

私立学校への「経常費助成補助」の増額を求めて

向笠県議会議長へ請願・署名を提出
9月8日 神奈川県庁新庁舎

まだまだ厳しい残暑の中、私立中学高等学校協会役員5名と私学保護者会連合会の役員6名が県庁を訪問し、私立学校の保護者負担の軽減と教育条件の維持向上に向けた、私学への「経常費助成補助」の増額等の要望を県議会議長に提出しました。

6月9日に全加盟校にお願いした「経常費助成補助」に関する署名は、全校の学校・法人・保護者代表から、249名が集まりました。県庁新庁舎の会議室において、中高協会の黒澤道男理事と保護者会連合会の市川昌廣会長が代表して、向笠茂幸県議会議長に提出しました。

平成26年度の都道府県別私立学校経常費助成の資料（生徒一人当たりの単価）によると、神奈川私学の金額は、中学校が全国でワースト1位、高等学校がワースト2位という非常に低い水準にあります。国の基準単価額と比べると、中学校では9万9千553円、高等学校では2万3千64円の低い金額となっています。

神奈川県に学ぶ生徒たちが、保護者の経済状況に左右されず、より自由に学校選択ができる教育環境をつくるために、私学への助成は極めて重要なことと考えます。



これからも「経常費助成補助」のさらに増額を求める取り組みについて、全加盟校のご協力をお願いします。

大阪大会に参加して

副会長 佐藤 昭

(横浜創英中学高等学校 後援会長)



日本私立学校保護者会連合会の総会・研修会が、7月11日から12日の2日間、大阪市で開催されました。テーマは昨年「続き」今こそ私学から発信「教育が未来を拓く」21世紀(あす)を担う子どもたちのために」でした。会場の「ホテル日航大阪」は高級ブランド店などが集積する大阪市を代表する繁華街、心斎橋に位置していました。総会では、来賓として上野通子(文部科学大臣政務官、中山泰秀(衆議院議員)の祝辞に始まり、日本私立中高連の摺河副会長の来賓挨拶がありました。議事に入り、議案はすべて承認されました。続いての講演は、東京都私立中学高等学校協会会長、八雲学園中学高等学校理事長・校長の近藤彰郎氏による、演題「私学振興と保護者の役割」でした。

「東京の私学の中には開校一八〇年の学校もある。今、必要とされることを先にキャッチして私学が始まった。ルールを作らない私学もあるが、人が育つことを認め合い、お互いに協力できることがある。突き詰めて考えると私学は自主性・独自性が大切である。私学の良さは様々な価値観であり、子どもの次の代まで良い教育を残していきたい。これを守っていくことは労力を要する。公立も行っている中高貫教育は私学が先駆者であり、帰国子女入試も私学が時代の要請に合わせて行い、結果を残している。文部科学省がグローバル化に対応できる人材育成を進めているが、グローバル教育も私学が行ってきた。子どもは生きる時代を選べない、今の教育を変えようとしている情勢もある。先の時代の教育も勿論大切であるが、今学校に通っている子どもを大切にしたい。これからも保護者会連合会と一緒に歩んでいきたい。」と終わりを結んでいました。

日私保護関東地区代表者会・研修会

副会長 玉園 篤敏

(平塚学園高等学校 父母の会会長)

8月29日、恒例の関東地区私立小・中・高等学校保護者会連合会連絡協議会代表者会及び研修会茨城大会が、水戸で実施され、市川会長以下理事全員が出席致しました。

最初に、関東地区私学保護福田勝巳会長(群馬県)は、「公私間格差の是正こそが、全ての生徒が胸をはって、自信をもつて学校に行ける環境づくりにつながっていく。その為に、力を併せていくことが必要である」と述べられました。

次に大窪範光茨城県私学協会会長は、「心ある大人が青少年の人となり育てていく。つまりその持っている能力を見出し、進化させていくということは水戸人が祖先から受け継いできた教育の原点であり、私学教育の原点であると考えます」と発言されました。引続いて各県私学連の活動報告がなされ、来年は、千葉県が開催県となることが決定されました。その後研修会が行われました。

スポーツと教育―サッカーから見る人間育成―と題して(株)フットボールクラブ水戸ホーリーホックGM萩原武久氏が講演されました。

「現在、家庭教育・社会教育の上で、大人が伝えていくべきはずの『規律を守る』ということが、非常に疎かになっている。我々はスポーツを通して、この脆弱になっている部分を青少年の身と心に育てていきたい。それが、自身の向上を目指し、周囲の為に力を尽すことのできる人間を育てることだと考えている。」

参加者は150名をこえ、大変盛会でした。



いじめ・暴力行為問題対策協議会にて

理事 深沼 昭彦

(横浜清風高等学校PTA常任顧問)



今年で、この会議に参加は通算5年目になります。その時々、の時勢に対応した会議になっております。今回は会議の内容もですが、この協議会の構成について紹介してみようと思います。

毎回、内容について紹介して参りましたが、いったいどのような方々で会議をおこなっているのか、きつと解らないと思います。この協議会は、神奈川県私立中学高等学校協会から工藤協合理事長はじめ、協会研究部各委員会から10名。神奈川県私立小学校協会からは、荒川理事長以下2名。神奈川県私学保護者会連合会からは市川会長以下4名。神奈川県民局次世代育成部私学振興課からは南雲課長以下3名。協会事務局から大矢局長以下2名の合計21名で構成されています。県からは県内の情報提供及び全国の情報提供など時勢の情報の提供を受け、協議をおこなっています。

私たち、保護者は過度に学校に頼ることなく、家庭でのしつけをもう一度見直す時期になっているのではないかと思います。しかし不安や解らないときは遠慮せずに相談することも忘れてはいけないと思います。

今回は協議会の紹介のようになりましたが次回の内容を中心にご報告したいと思います。



新役員紹介

理事就任にあたって

新理事 鴨下 博厚

(洗足学園中学高等学校洗足会会長)



5月の定時総会で、新たに理事に就任させていただきました。

洗足学園中学高等学校の保護者の会である「洗足会」の会長もこの5月に就任したばかりで、学校での活動もまだまだ手探りの状況にあります。その中で、神奈川県全体の私学保護者会連合会の理事として、いかに活動していけば良いのか。現在は、はなはだ心許ないところですが、市川会長をはじめとする会の諸先輩方にご指導を頂きながら、少しずつ着実に、身に余る大任を務めていきたいと考えております。

洗足学園は川崎市にある中高一貫の女子校で、今年、創立90周年を迎えます。創設者の掲げた「社会に有為な女性を育成する」という教育方針のもと生徒達は主体性を発揮し、大変活発に勉強やクラブ活動、学校行事に取り組んでいます。保護者の目から見ても明るく心豊かに過ごせる環境であると感じています。洗足会は、学校と常に連絡・協力をしながら、生徒全員の学園生活をより良くする目的で活動しており、Fathers」という父親の会も含めて、さまざまな取り組みをしてまいりました。

学校と力を合わせて行なってきた数々の経験を生かして、私学保護者会連合会の理事として、私なりに精一杯、活動

私学の更なる発展のために

新理事 吉成 みち子

(横須賀学院教育賛助会会長)



横須賀三浦地区で唯一、小学校から高等学校までを擁する横須賀学院は、1950年に創立さ

れたキリスト教学校です。建学の精神「敬神・愛人」、生活目標「誠実・努力・奉仕」のもと、これまでに3万有余人に及ぶ卒業生を送り出してきました。高校からの入学生が多い本校ですが、小・中学校からの在籍生と生徒会や部活動を共にすることで友情を育みながら、生徒達は互いに成長しています。この姿勢の根底にある「隣人を愛する思い」は学院内に留まらず、「メサイア演奏会」などの伝統行事や交流支援を通して地域や海外にも広く向けられています。建学の精神を曲げることなく、身をもって子ども達に教えること、くださった恩師を慕い、折に触れて学び舎を訪れる同窓生も多くいます。

「日本の都市公園百選」の一つ、三笠公園に隣接する校地は、市街地にありながらも明るく開放感があり、学窓からは東京湾唯一の自然島である猿島の緑陰と、それとコントラストを描くように浦賀水道を絶え間なく行き交う大小の船影、その先に横たわる房総半島を一望

ができます。この学び舎を目指して、来る朝ごとにあどけない小学生から大人びた高校生までが一同となって校門をくぐる登校時の風景は圧巻です。この子ども達が心身共に健やかに成長できるようにと、保護者によって構成されるPTAと教育賛助会では日頃から講演会やバス旅行により会員相互の親睦を図るとともに、毎年9月に開催される文化祭では合同でバザーを企画し、その収益により教育環境の拡充に貢献すべく活動しています。

このたび、思いがけず私学保護者会連合会の理事という大役を仰せつかりました。我が国の教育力の低迷が危惧されている昨今、私立学校に寄せられる期待は更に大きく、担う使命はいよいよ重くなっていることを、一連の活動を通してあらためて痛感しております。微力ではありますが私学の更なる発展のためにお手伝いできれば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

未来に繋ぐ建学の心

新理事 深谷 祥子

(藤嶺学園藤沢中学・高等学校)



2015年創立100周年を迎える藤嶺学園藤沢中学・高等学校は、時宗宗

その宗祖一遍上人の教示を建学の精神としています。時宗総本山 清浄光寺(遊行寺)の高台にあり、校舎の窓から湘南の海、富士山を望む穏やかな景色と光につまれた男子校です。

「質実剛健」「勇猛精進」を校訓とし、この精神を受け継ぎ、未来に各界で活躍していく男子教育として、茶道、剣道、修養(法話と座禅)が日々の授業の中にあります。これらの授業の積み重ねは、外見にはあらわれませんが、時を重ねいづか心の滋養となって人としての厚みを育てるのだと思います。

バレーボールの日本発祥の碑がたつバレーコート、公式戦のできる野球場、武道場などに部活動の伝統と歴史を感じます。文化祭では、文化部の多彩な活動にも触れることができます。

PTA活動といえば母親の出番というイメージですが、藤嶺学園では「おやじの会」があり、父親の出番もたくさんあります。藤嶺祭(文化祭)参加、講演会、遊行寺でのセミナー、懇親会、ソフトボール大会、コンサートなど・・・こうした活動によって保護者と先生方、校長先生、教頭先生との交流が図られています。

中学から高校の6年間は、男子の身体も心も成長著しく、母親には理解しがたく、戸惑うばかりの時期です。男子教育に力を注ぎ、おらかなながらも、きめ細かく一人一人の生徒を見守ってくださる先生方と学校の対応に、私学ならではの暖かさを感じています。

今年度より私学保護者会連合会の理事を仰せつかりました。右も左もわからないような状態ではありますが、皆様方のご指導のもと努力いたします。未来につながる子供達の成長と、私学の発展のために微力ながらお手伝いできればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。